

## ROBO-TV R ビューア 付属ソフト

録画サーバー時刻同期用ソフト : Xtime3 設定ガイド

CVI ファイル再生用フリーソフト : PMP.exe 操作ガイド

(ビューアソフト付属ソフト)



株式会社ディーグラット

2020年5月

(第3.0.0版)

この度は、ROBO-TV Rをご利用頂きまして、誠に有難うございます。

本ガイドは、ROBO-TV R専用ビューアソフト「ツリービューア 200」または「本部コマンダー」の付属ソフト「Xtime3」の設定方法および「PMP.exe」の操作方法について解説しています。

**必ずお読み下さい。**

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、固く禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©等のマークは記載していません。
- 本書の内容は、製品の改良等により内容が実際と異なる場合があります、将来告知なく変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一わかりにくい点や記載もれ等、お気づきの点がございましたらご連絡下さい。
- 本製品を使用したことによるお客様の侵害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信等の機器を逸したために生じた損害や万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

株式会社 ディーグラット

---

<b>1</b>	<b>付属ソフト①:時刻同期ソフト XTIME3(エクスタイムスリー) 設定ガイド</b> .....	<b>4</b>
1.1	更新情報.....	4
1.2	本ソフトの起動と基本設定.....	4
1.3	Xtime3 各部説明.....	6
1.4	プログラムをスタートアップから起動する(Windows10 ).....	7
<b>2</b>	<b>付属ソフト②:CVI 再生用フリーソフト「PMP」</b> .....	<b>8</b>
2.1	更新情報.....	8
2.2	PMP のある場所と配布方法.....	8
2.3	本ソフトの配布と起動について.....	9
2.4	PMP 各部説明.....	11
2.5	PMP 右クリックメニューの説明.....	13
<b>3</b>	<b>【改定履歴】</b> .....	<b>15</b>

## 1 付属ソフト①:時刻同期ソフト Xtime3(エクスタイムスリー) 設定ガイド

時刻同期ソフト「Xtime3」(以下本章では、本ソフト)は、本ソフトが稼動している PC の時刻に、対象となる録画サーバーの時刻を定期的に同期させるためのツールです。

「ツリービューア 200 Ver.6.0.1.00」以降、標準バンドルしています。

本ソフトが稼動している PC には、ROBO-TV R のビューアソフト「ツリービューア 200」、「本部コマンダー」のいずれかがインストールされ、使用されている必要があります。

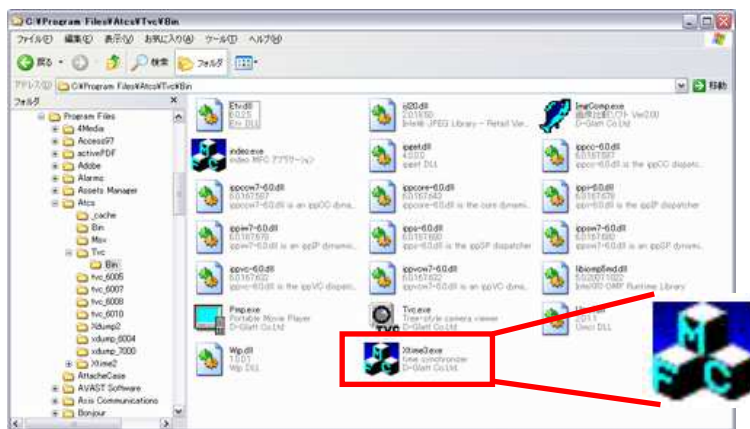
### 1.1 更新情報

- 2020/5/14.....Ver.2.01.00 リリース  
結果のポップアップ表示のチェックボックス化、プロセスの常駐オプションの追加。

### 1.2 本ソフトの起動と基本設定

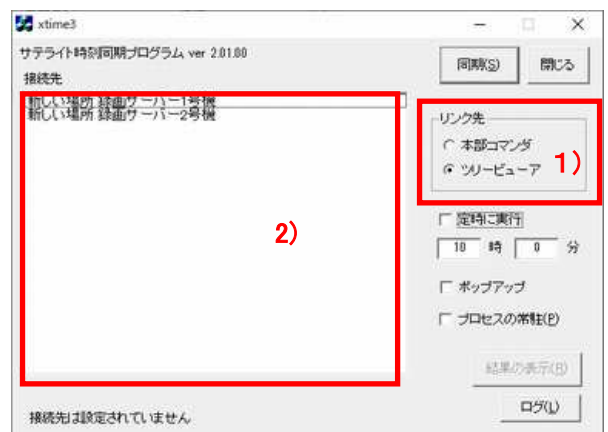
「ツリービューア 200 Ver.6.0.1.00」以降から、ツリービューアを CD からインストールすると、「Tvc.exe(ツリービューア本体)」と同じフォルダに「Xtime3(Xtime3.exe)」がインストールされています(下図)。

あとから、Xtime3 をご導入される方は、「Tvc.exe(ツリービューア本体)」と同じフォルダに「Xtime3(Xtime3.exe)」を置いてください。(本部コマンダーの場合は、ツリービューアの箇所を読み替えて下さい。)



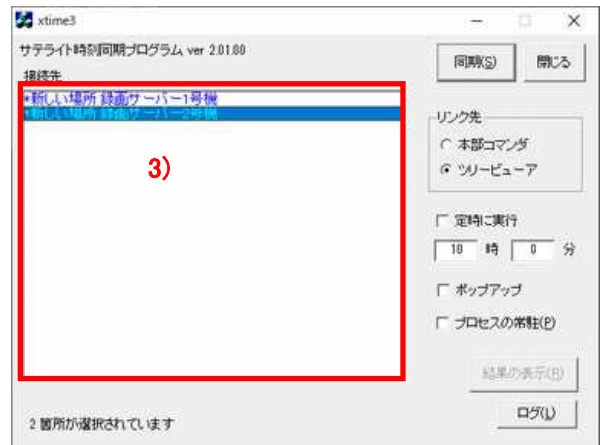
- 1) ダブルクリックで本ソフトが起動します。  
「リンク先」で、使用しているビューアを指定します。

- 2) 「接続先」画面に、そのビューアで設定(接続可能な)している録画サーバーが自動でリスト表示されます。



3) 時刻同期を行う、対象の録画サーバー指定します。「接続先」画面で、対象の録画サーバーをダブルクリックで指定します。

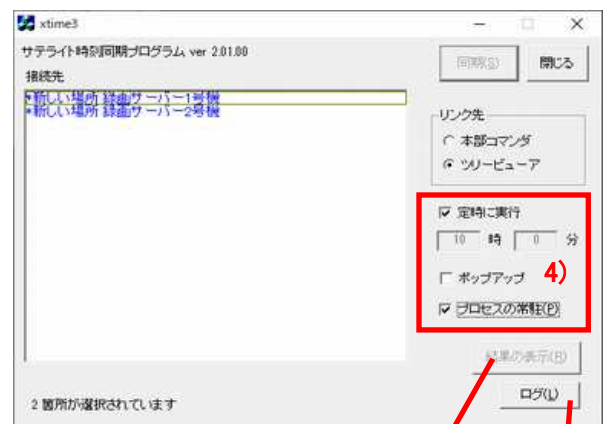
指定すると録画サーバー名の左に「\*(アスタリスク)」が表示されます。



4) 次に、定期的に時刻同期を行う「時 分」に時刻同期を行う時刻を入力し、「定時に実行」にチェックを入れます。

右図の例は、本ソフトが稼動しているPCが毎日10時になると時刻同期を行う設定例です。

また、「プロセスの常駐」にチェックをしておきます。これで「閉じる」ボタンをクリックしても、PCの起動中はソフトウェアを閉じません。



以上、で基本的な設定は終了です。

5) 4)の「ポップアップ」にチェックすると、定時の時刻同期動作が終了するたびに、右図の「時刻同期レポート」が自動でポップアップ表示します。

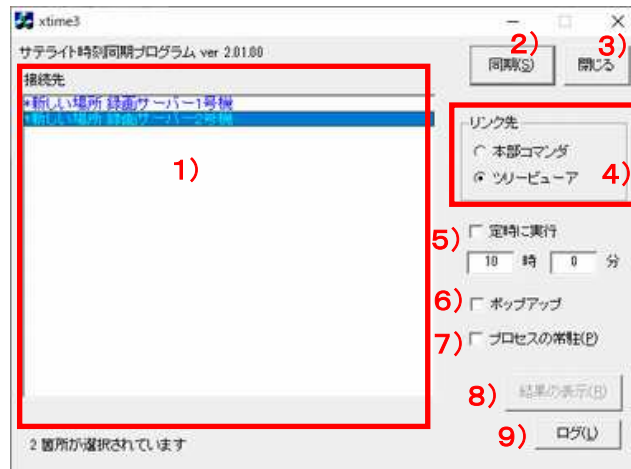
「結果の表示」ボタンをクリックでも「時刻同期レポート」を表示し、ジョブの確認ができます。



「ログ」ボタンをクリックすると、時刻同期の結果が確認できます。



## 1.3 Xtime3 各部説明



項	名称	説明
1)	接続先リスト	本部コマンダー、ツリービューア 200 で設定している(接続が可能な)録画サーバーが接続先リストに表示されます。 時刻同期を行う「対象となる録画サーバー」はこの画面上で、ダブルクリックで指定します。指定されると左側に「*」が表示されます。
2)	「同期」ボタン	このボタンをクリックすると、接続先リストで指定した録画サーバーに対して、即座に時刻同期を行います。(完了後に「時刻同期レポート」画面が表示されます。)
3)	「閉じる」ボタン	本ソフトを終了します。「プロセスの常駐」にチェックをすると、「閉じる」ボタンをクリックしてもタスクトレイに常駐して、ソフトは終了しません。 ※本ソフトの古いバージョンでは、「プロセスの常駐」がありません。 「定時に実行」を設定している場合、本ソフトが終了されていると時刻同期を行いませんのでご注意ください。
4)	リンク先	本ソフトと PC に同居している、ご使用中の ROBO-TV R のビューアソフトを指定します。
5)	定時実行	時刻同期を定時に実行したい場合に、時刻を入力し、「定時に実行」にチェックをします。
6)	ポップアップ	(Ver.2.01.00 の新機能) チェックをすると、時刻同期の動作が終了すると 8)の「時刻同期レポート」画面を自動ポップアップ表示します。
7)	プロセスの常駐	(Ver.2.01.00 の新機能) チェックをするとプロセスを常駐します。本ソフトをタスクトレイに格納して、動作し続けます。
6)	「結果の表示」ボタン	時刻同期動作の確認ができます。クリックすると「時刻同期レポート」を表示し、ジョブの確認ができます。
7)	「ログ」ボタン	本ソフトの時刻同期のログが確認できます。

ご注意: 古いバージョンの Ver.8.07.01 では、プロセス常駐機能がありません。定期的に時刻同期を行う場合、常に本ソフトが起動している必要があります。「閉じる」ボタン等をクリックすると、本ソフトが終了してしまいますので、ご注意ください。

## 1.4 プログラムをスタートアップから起動する(Windows10 )

プロセスの常駐にチェックをしても、PC をシャットダウンすると本ソフトは終了します。  
そこで、PC 起動とともにソフトを実行するために、スタートアップに登録しておくことをお勧めします。

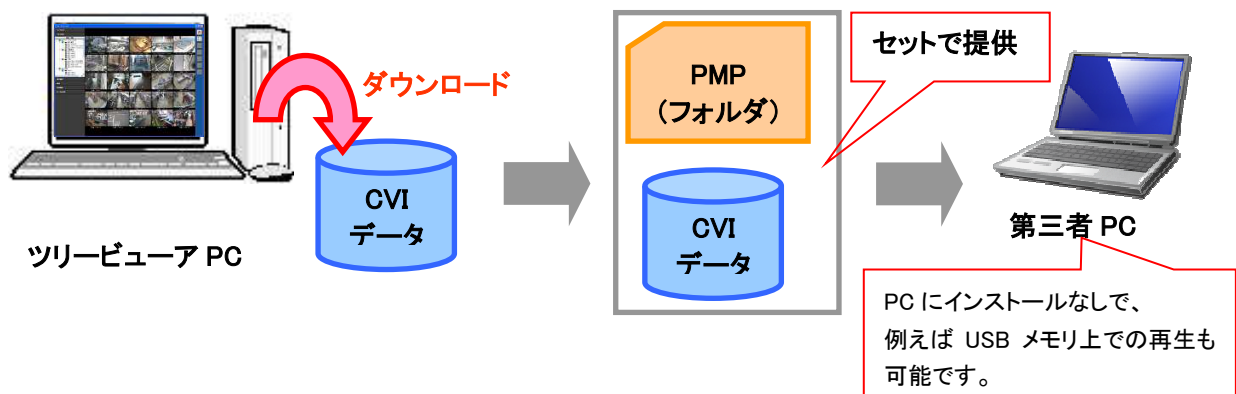
- 1) まず、本ソフトのショートカットを作成します。
- 2) Windows10 のスタートメニューを右クリックで開き、「ファイル名を指定して実行」を開きます。
- 3) shell:startup と入力して OK するとスタートアップフォルダーが開きます。
- 4) ここに Xtime3.exe のショートカットを置きます。以上です。

## 2 付属ソフト②:CVI 再生用フリーソフト「PMP」

CVI再生専用ソフト「PMP」(以下本章では、本ソフト)は、ROBO-TV R 専用のデータ形式「CVIファイル」を再生する事ができるソフトウェアです。

この「PMP」は、フリーソフトです。

ツリービューア等で、ダウンロードした画像ファイル「. CVI形式」を、第3者に提供するなどの、ツリービューアをインストールしていないPC等で見ると必要な場合に、再生ソフトとして配布する事ができます。



### 2.1 更新情報

- 2020/2/6.....Ver.9.00.02 リリース  
MP4変換の仕様変更、ランダムアクセス対応。

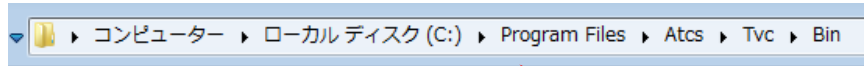
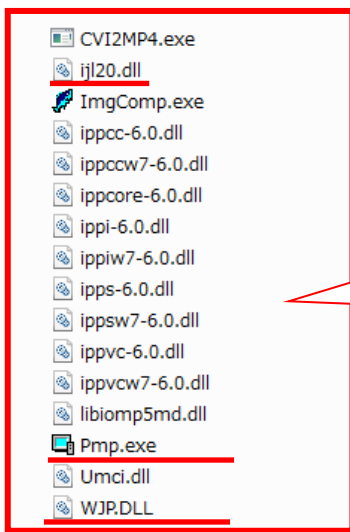
### 2.2 PMP のある場所と配布方法

ツリービューア、本部コマンドーの CD の中に「CVI ファイル再生専用ソフト(フリー)」というフォルダがあります。配布に当ってはこのフォルダ毎コピーして配布して下さい。(下図)





CD がない場合は、インストールしたツリービューアがあるフォルダにありますので、下の図のファイル群をコピーして配布して下さい。(dll ファイルはツリービューアの実行プログラムも使用しますので切り取らないで下さい。)

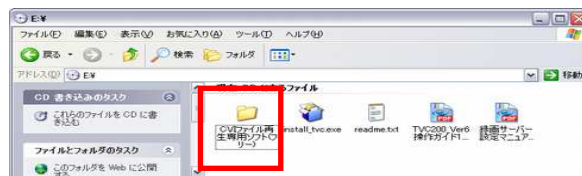


再生したい CVI データが JPEG (MJPEG) の録画データの場合は、下線の付いている3つのファイルのみで再生可能です。

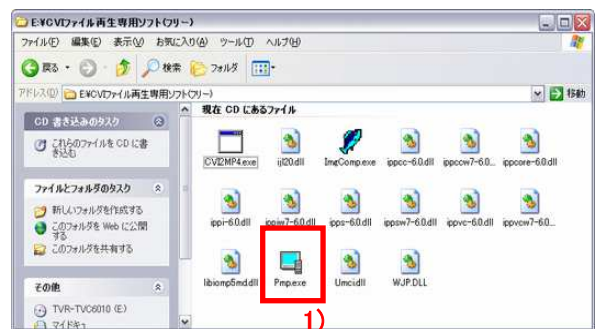
ツリービューアを特にフォルダを指定しないでインストールするとこのパスの Bin フォルダ内に左のファイルが存在します。

### 2.3 本ソフトの配布と起動について

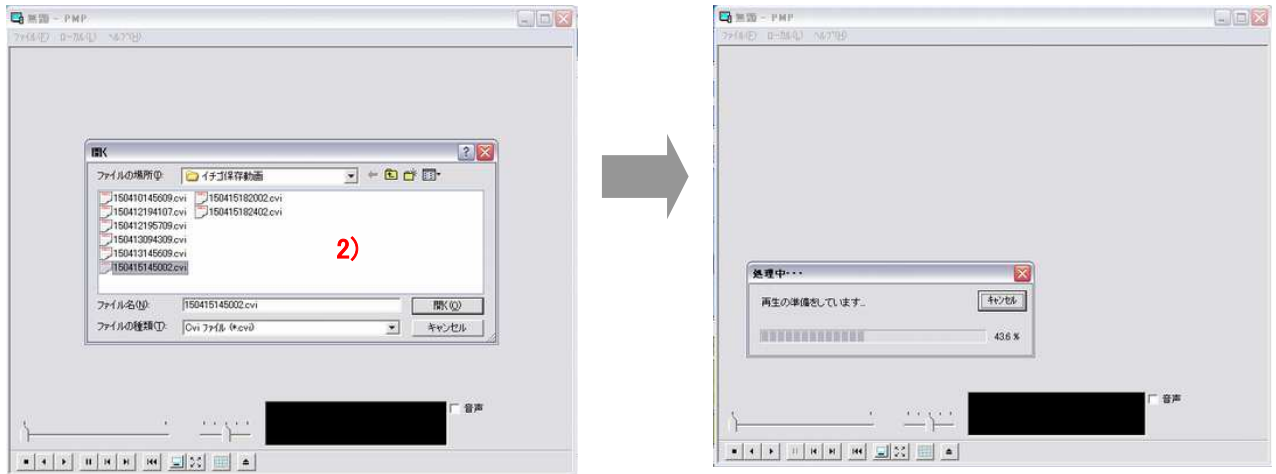
ご購入いただきました「ツリービューア 200」、「本部コマンダー」の CD の中に、「CVI ファイル再生専用ソフト(フリー)」というフォルダがあります(下図赤枠)。このフォルダ毎、本ソフトを起動させたいPCの任意の場所にコピーしてご利用ください。



- 1) フォルダの中身は下図の通りです。  
Pmp.exe をダブルクリックで本ソフトが起動します。



2) 起動すると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、再生する「.cviファイル」を指定します。



3) 画像が表示されましたら、再生ボタン等で操作を行います。

## 2.4 PMP 各部説明



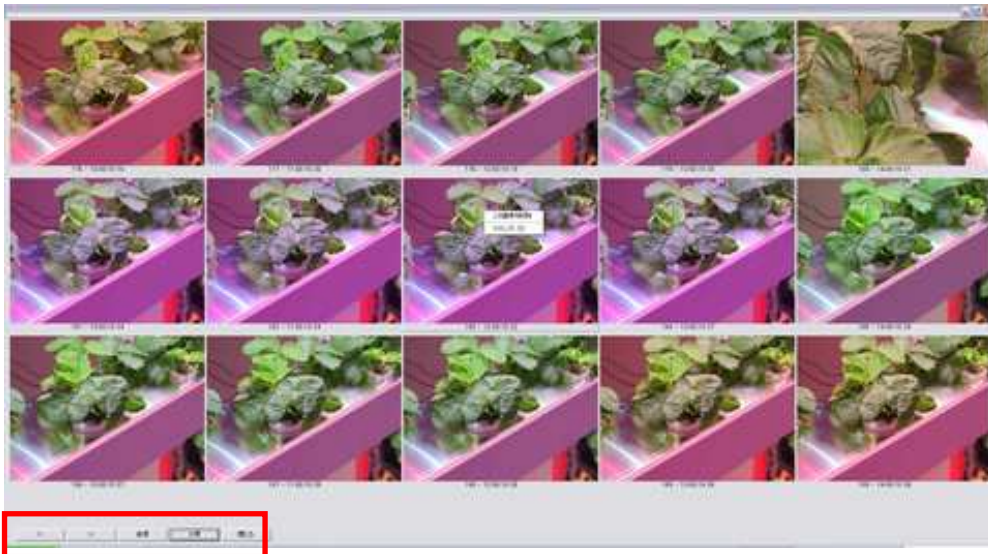
## コンソール部の説明

項	アイコンまたは名称	説明
1)		停止
		逆再生 ※H.264 録画サーバーのデータは不可。
		再生
		一時停止
		最初のコマへ移動 ※H.264 録画サーバーのデータは不可。
		最後のコマへ移動
		巻き戻し
		通常表示
		フルスクリーン表示
		サムネイル表示。静止画(コマ)を複数分割画面表示します。この画面を呼出した際、コマ画像の消去やトリミングが行えます。※画像消去やトリミングは、JPEG 録画サーバーのデータのみ H.264 録画サーバーのデータは不可。次頁参考参照。
		イジェクトボタン。本ソフトが終了します。
2)	再生画像スライダー	スライダーは再生画像の再生位置を表示、またドラッグやクリックで移動が可能です。
3)	再生速度変更スライダー	再生スピードの変更を設定するスライダーです。右側にスライドさせる程高速になります。 ※ 音声を選択されている場合は、音声のほうが優先されますので、再生スピードに変化はありません。
4)	情報表示部	●上段左から 西暦、月、日、時、分、秒、ミリ秒 ●下段左から 再生中画像のコマ数／再生画像の総コマ数、カメラ番号、画面中の変化率
	「音声」チェックボックス	チェックボックスが選択されている場合、音声も同時に再生されます。※録音されている事が前提です。

ご注意:H.264 対応録画サーバーのダウンロードデータについては、逆再生等使用できない機能があります。これら使用できない機能は、本ガイド 30 頁のツリービューアの「過去画像の再生」と同様です。

### 【参考】PMP のサムネイル表示(静止画複数分割表示)の説明

コンソール部のアイコン  をクリックすると、下画像のように静止画でサムネイル表示ができます。



#### 1) 赤枠操作ボタン説明

《 》 ボタン	1コマずつ戻る、進むボタンです。
「前頁」、「後頁」ボタン	1画面に表示されている頁毎、前、先に進むボタンです。
「閉じる」ボタン	サムネイル表示画面を閉じます。

#### 2) 画面上での右クリックメニュー

**ご注意: JPEG 録画のみです。H.264 録画のデータは表示しません。**

画面上で右クリックすると、「この画像を削除」、「トリミング」のメニューが右図のように表示されます。

削除したい静止画上で右クリックし「この画像を削除」を選択すると、そのコマのみ削除できます。

**ご注意: 削除操作を行うと一番最初のコマからの表示に戻ります。**



#### 3) 右クリックメニュー「トリミング」

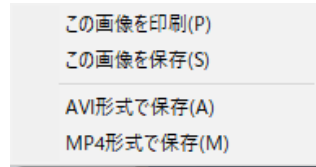
「トリミング」を選択すると、右図のような「トリミング」ダイアログが表示します。

ここで、コマ間を指定して「抽出する」もしくは、まとめて「削除する」事ができます。



## 2.5 PMP 右クリックメニューの説明

PMP の再生画像表示部で右クリックすると、右図のメニューが表示されます。印刷や画像保存、動画形式を変更して保存できます。



**ご注意:**このメニューは「停止」ボタンで静止している時に利用ができます。

1) 「この画像を印刷」を選択すると下の「印刷ダイアログ」が表示され、「OK」ボタンで印刷ができます。



プリンタドライバを呼出します。

印刷時に「日時」、「カメラ(名)」、「サイト(録画サーバー)」でキャプションを付与する場合にチェックします。

H.264 録画の場合は、「インターレース解除」は使用できません。

2) 「この画像を保存」を選択すると下の「画像の保存」ダイアログを表示します。



「保存」ボタンをクリックで、「フレームを JPEG 形式で保存」ダイアログが表示されます。

保存する場所とファイル名を任意で指定して、保存します。(JPEG 形式)

3) 「AVI 形式で保存」を選択すると下の「AVI 形式の保存」ダイアログを表示します。

「保存」ボタンをクリックすると、「動画を AVI 形式で保存」ダイアログが表示しますので、保存場所とファイル名を指定して保存します。



「タイムスタンプを表示」にチェックをすると、タイムスタンプが画像に表示される動画が保存されます。





## 【参考】タイムスタンプ表示イメージ



4) 「MP4 形式で保存」を選択すると下の「動画を MP4 形式で保存」ダイアログを表示します。



保存する場所とファイル名を任意で指定して、「保存」ボタンをクリックで保存します。

## ご注意:

- H.264 録画サーバーの H.264 データのみ使用可能です。
- JPEG 録画のデータでこのメニューを選択すると、エラーメッセージ「この形式はサポートしていません」と表示します。
- 保存している cvi 画像に音声録音されている場合、音声と一緒に変換することは出来ません。動画のみとなります。

### 3 【改定履歴】

- ・2016年4月25日 初版。ツリービューア Ver.6.05.03 更新に伴い、ツリービューア操作ガイドから分離独立。
- ・2016年7月28日 2.1の配布方法を追加
- ・2017年1月31日 2.0.0。本書タイトル「ROBO-TV Rビューア 付属ソフト」に変更。
- ・2020年5月12日 3.0.0。ソフトバージョン更新に伴う改版。

著作  
株式会社ディーグラット

《本社》  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-23-2 第25SYビル 5F  
TEL:03-5467-4786 FAX:03-5467-4784  
<http://www.d-glatt.co.jp>